

# 寺報

令和二年八月

第八十六号

正念寺護持会発行

常陸太田市久米町二十一

電話 〇二九四一七六一二〇五八

FAX 〇二九四一七六一〇一六九

## 今できることをコツコツと

昨年末より問題になっております、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によって、当寺においても「永代経法要」の規模の大幅な縮小や「花祭りコンサート」の延期、グラウンドゴルフ・寺院巡りの中止など対応に苦劳いたしました。茨城においては、五月以降発症はありませんでした、ここ最近また少し発症した患者の方が出ております。素人判断ですが、感染力の強いウイルスだと思われ、まだまだ完全に落ち着く様子はないようです。

今現在罹っていないくとも、自分もいつ感染するか判らないと考える行動しなければならぬと考えます。これは、患者の方やその関係者の方々への誹謗中傷がある、ということも最近聞くことがあります。ですが、それは、いつ自分が罹患するか判らない現状を考えれば、その誹謗中傷はいつか自分に返ってくるよ、と言う事でもあります。この様な未知のウイルスの問題が起こったとき最も大切なことは、いたずらに情報に躍らされない、と言う事では無いでしょうか。

マスクは、専門家という名の実は専門家でもない人を呼び集め、不安を煽る。マスク側の理屈から言えば、「売れてなんぼ」という事なのでしょうが、そういう情報を常に垂れ流されれば、受け手の側（私たち）はどんどん不安を募らせていきます。そして罹患した人、その家族・関わりのある人たちに対して誹謗中傷をする人たちが現れ

る。こういうことは、決して許されるものではありません。

今回の新型コロナウイルスだけのことではありませんが、私たちは何か問題が持ち上がったとき、ともすると自分のことは棚に上げて、ヒステリックに自分と反対意見を持つものを責めがちです。でもよく考えてみれば、私はそれほど（他人を責められるほど）高潔な人間でしょうか。

今回の新型コロナウイルスの問題も、中国由来だとか騒がしいところもありますが、問題はどこから起こったかでなく、どう対処していくかという事では無いでしょうか。新型コロナウイルスの正体を一日でも早く突き止め、ワクチンを開発していくことが最も大事なことでないでしょうか。

仏教では、因果・因縁という事を説きます。因果とは、全てのことには原因がある、と言う事です。因縁とは、その原因に縁が絡んで結果が表れるという事です。今回のウイルスすでに沢山の方がお亡くなりになっています。しかしなくなつた原因は、決してウイルスではないのです。命を持ってこの世に生まれてきたことが原因なのです。ウイルスは、あくまで「縁」なのです。命を持って生まれた以上必ず命終わるときは来る。そのことをしっかりと心に持っていれば、今回のウイルスを必要以上に怖がらなくても大丈夫かと思えます。

私たちは、今できることをしっかりと。三密を避けることは勿論、うがい・手洗い・マスク、そういった事のの一つ一つを心がけることで感染するリスクはだいぶ下げられることと思えます。

今後も未知のウイルスが生まれて来る可能性は、勿論あるでしょう。しかし、私たちが生きていく以上、どうにか折り合いを付けていかなければいけないのも事実です。私もあなたも、今できることを「コツコツ」と。忘れてはいけぬ言葉だと思います。



## 正念寺ホームページのご案内

正念寺では、ホームページを開設しております。そちらもどうぞ閲覧下さい。

また、現在様々なものがリモートでの開催が可能になっております。

五月に発行した号外にも記載しておりますが、当寺でもリモートによるご法事などの要望にも応えられる準備はしておりますので、ご希望がございましたらご連絡ください。



## 二期一会コンサートのご案内

四月に『花祭りコンサート』として行う予定でしたが、新型コロナウイルスの問題で延期を余儀なくされました。しかしこの度、来る九月十九日(土)午後二時より『秋期彼岸会コンサート』として行うことが決定いたしました。正直言って、新型コロナウイルスの問題は、まだまだ不安要素はありますが、参加者の間隔を空けたり、マスク着用などの対策をして行います。

まだまだ不安なことはあると思いますが、少しずつ日常を取り戻す努力をしていきたいと思えます。

## ページ減のご案内

これまで、お寺にお参りに来られたお子様達の写真などを掲載させて頂きました。

新型コロナウイルスへの不安もあるのか、ご法事のお参り参加も大変に少なくなっております。正念寺では、ご法事自体が極端に減ったという事は無いのですが、お二人やお一人で行われることが多くなりました。寂しいことではありますが、現状では致し方ないのかと思っております。そのような事情もあり、今回寺報も「ページ減」という措置を執らせていただきました。

仏教では、ご縁という事を説きます。私たちの世界は、様々な寄り合つて成り立っているという事です。しかし、そのご縁を説きながら、現在はあるべく少ない参加でお願いいたします、とお願いしなければならぬ矛盾を抱えております。大変に寂しいことではあります。まずは自分の命を守るという事を考えるの行動が大事かと思えます。

私たちは、命を持って生まれてきた以上必ず命終わるときがやってきます。事故という縁でなくなったり、病気という縁で亡くなる事もあるでしょう。老衰という縁も当然あります。どんな終わり方であっても尊い私の命です。しっかりと仏法の智慧に導かれた生き方をさせていたいただきたいものです。

## 住職雑感

昨年末より世界的に流行した新型コロナウイルス「COVID-19」が、私たちの生活に及ぼした影響は甚大なものがあります。自分の行動を見ても、外出がほとんど無くなりました。一週間、車のエンジンをかけないという事も普通になってしまいました。

会議のほとんどは、リモートで行われ、画面越しに話すことに違和感も少なくなってきました。移動時間を取られずに会議が出来るというメリットもあります。

しかし、それでも直接会うことの大切さもあるのでは無いかと考えてしまうのは、古い人間である証でしょうか。いくらリモート会議に慣れたとは言え、画面越しのもどかしさみたいなものがどうしてもあるのです。

COVID-19の問題は、今回で終わるわけも無く、今後も波こそあるでしょうが、ずっと続いていく問題だと思えます。そういう中で、どう折り合いを付けてCOVID-19と付き合っていくのかを考えなければならぬでしょう。なにせ、そうしなければ経済ばかりで無く、日常の生活が死に追いやられます。今こそ、私たち一人一人の知恵を出し合いながら、私たちの生活を日常に戻す方法を探るべき時だろうと思えます。